

子ども劇場図鑑2019 舞台案

➤ コンテンツは紙芝居、人形劇、影絵、こども合唱。

順番：紙芝居→人形劇→影絵 各合間に合唱

➤ 屋外の縁日のイメージをそのまま会場内に展開することを目的とする

➤ 観客はどこで見てても自由。開演中、歩いて、しゃべってもよい。開場時に合唱隊の子供を自由に配置し、遊ばせておくことで、自然とその雰囲気を出しておく

※配置案 ⇒⇒

●配置はあくまで案です。

縁日の屋台・小屋のように3つの出し物を場内に配置する。特に均等である必要はない。舞台美術との絡みで、自然な配置であればよい。

(美術・舞台監督と相談)

鳥居などをおいて、神社の雰囲気を出したいが、実物を用意するか、赤い布などで抽象的に表現するか

●照明は

夕方（紙芝居）

宵の口（人形劇）

夜中（影絵）

明け方（終演時）

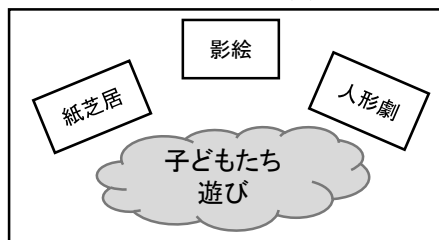
までの屋外の自然な変化をつけたい。気が付けば変わってる、的な。

(照明さんお願い)

夕方から夜になって、提灯に灯りがともる雰囲気を出したいが、どうする？

(実物を用意するか、それっぽい照明で表現するか)

0.開場時～開演



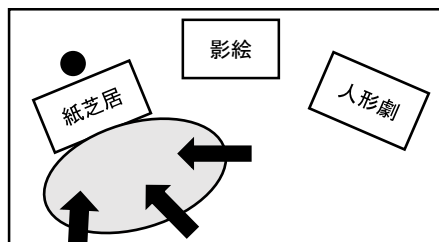
0.開場時

夕焼け空・長い影
遠くでお囃子BGM。
外遊びをする子供たち。
準備をする大人たち。

↓ 開演

↓ (合唱：七つの子)

1.紙芝居



1.紙芝居（15分）

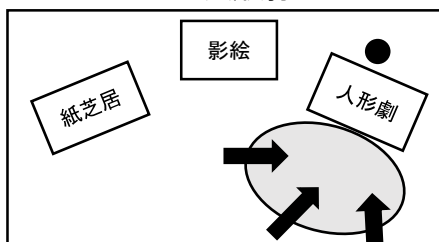
たけちゃん+演奏の方
大型紙芝居+うた？

↓ (合唱：とुरやんせ)

↓ 提灯に灯りがともる

↓ にぎやかな明るい夜店の雰囲気

2.人形劇



2.人形劇（15分）

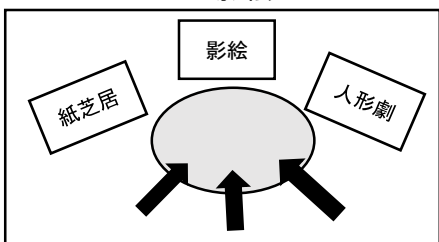
つんちゃん with T
人形劇屋台セット

↓ (合唱：かごめかごめ)

↓ 気が付けば提灯の灯も消え

↓ 鎮まった夜中の境内

3.影絵



3.影絵（15分）

船越さん
障子に映すイメージ
影絵以外の部分は真っ暗。
怖さも出して、影絵に意識集中
影絵中に一緒に見ていた合唱隊は
そっと退場

↓ (暗転)

4.終演

静かに夜が明ける。
周りは抜け殻のような祭りのあと。
狐のお面を被った合唱隊の子供が、
数名逃げ遅れて、慌てて退場

➤ 開場時は合唱隊のこどもたちが、昔ながらの体を使った遊びなどをしていて、お客さんの子供たちにも声をかけて一緒に遊んであげる。

(だるまさんがころんだ、はないちもんめ、かごめかごめ など)

参加しても、しなくても自由。出し物の準備の様子を見に行ってもいいし、親と一緒に座っててもいい

➤ スタッフの大人たちは、(できれば法被を着て) 子供たちが危険なことをしないよう、町内会のおじさん、おばさんのごとく開場内をうろつく

➤ 各出し物担当者は、開場時から自分の出番までは、リアルに準備などの作業・確認などしていてもいいし、こどもたちと会話したり、絡んでいてもいい。出番になったら、こどもたちを見やすいところに声掛けをして集め、はじめる